

もも・ネクタリン特報

H25. 4. 5 No. 1

J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

開花予想は今後の天候や園地・品種により変化しますが、平岡地区の白鳳で4月18日前後と予想されます。生育状況に合った防除や管理作業をすすめましょう。また、昨年度せん孔細菌病発生園は、越冬菌が多いと予想され本年の発生も心配されますので、防除は遅れずに適期に実施してください。

【開花状況】白鳳 平岡調査地点(平年4/22) *発芽:3/28(昨年4/8、平年4/2)

年 度	平 年	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
開 花	4/22	4/28	4/17	4/20	4/13	4/23	4/28	4/26	?

*本年は凍霜害が心配されます。凍霜害対策に万全を期すとともに、結実安定のため花粉のない品種(川中島白桃等)においては、人工受粉を必ず実施しましょう。

【もも・ネクタリン共通 開花前 特別散布】せん孔細菌病対策

せん孔細菌病多発園は、開花前にキンセツ水和剤80の1,000倍を特別散布する。

*この散布は開花始めのボルドー液散布前(4月10~14日頃)に実施する

1. 開花始めの散布(せん孔細菌病予防散布)

*収穫中の作物等への飛散に充分注意してください

*防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡してください。



もも

散布時期:	開花始め(1~2輪咲き)			
散布薬剤	水		100	リットル
	4-12式ボルドー液	生石灰	1200	g
		硫酸銅	400	g
	展着剤		10	ml
対象病虫害:	せん孔細菌病			
10a当り散布量:	350ℓ			
	散布日	月	日	
	散布量			リットル

【注意事項】

- ① せん孔細菌病に対し効果が高いので必ず散布する
- ② 散布時期を厳守すること。(展葉後の散布は薬害が発生する)
- ③ 4-12式ボルドー液に代えて、icボルドー412の30倍(水100ℓに3.3kg)を使用してもよい。
- ④ コスカシバ対策としてスカシバコンを4月中下旬に10a当り50~150本設置する

ネクタリン

散布時期:	開花始め(1~2輪咲き)			
散布薬剤	水		100	リットル
	icボルドー412		3.3	kg
対象病虫害:	せん孔細菌病			
10a当り散布量:	350ℓ			
	散布日	月	日	
	散布量			リットル

【注意事項】

- ① せん孔細菌病に対し効果が高いので必ず散布する
- ② 散布時期を厳守する。(展葉後の散布は薬害が発生する)
- ③ コスカシバ対策としてスカシバコンを4月中下旬に10a当り50~150本設置する。

2. せん孔細菌病対策

決め手となる防除方法がないので、春型枝病斑切除・防風対策を中心とした耕種的防除を実施しましょう。

- (1) 春型枝病斑(開花期より出現)の切除と園外への搬出(この病斑から繁殖した細菌が雨滴に混じり、葉・果実へ感染させる)
- (2) 風当たりの強い園で発病しやすいので防風ネットを設置する。
- (3) 排水性の悪い園や弱・強樹勢樹に多発するので、排水対策などの園内環境整備や樹勢適正化につとめる。

裏面もご覧ください

3. 今後の栽培管理

最重点作業は摘蕾の実施です。大玉良品生産の第一歩は摘蕾の実施から！！

- (1) 摘蕾・摘花：摘蕾作業をすすめていると思いますが、蕾の先端がピンク色に色づく頃が最も作業性があがるので行なってください。遅れた場合は落花期までに花摘みを行なってください。
- (2) 人工受粉：花粉が少なかったり全くない品種では、必ず人工受粉を行なってください。あらかじめ開葯し採取した花粉で受粉することが最良ですが、受粉樹(花粉の多い品種)で開花している花の花粉を毛バタキ・綿棒につけて受粉(交互交配)するのも効果がありますので実施してください。
- (3) 枝の誘引：発生角度が鋭角すぎる側枝・垂主枝・主枝の誘引 樹形改善のために誘引は必須作業です。

もも貯蔵花粉の受付

もも・ネクタリンは天候状態により開花・満開が極端に進み、当用花粉では間に合わない場合や凍害に遭遇した時に花粉のある品種でも人工受粉の必要がでてくる可能性がありますので、ぜひ桃花粉の貯蔵をおすすめします。

- ・共同開葯所では、次年度に使用するための貯蔵花粉の受付を行います。
- ・花の持ち込みの際に貯蔵花粉と明記し、各支部の指示に従い搬入してください。
- ・採取する花は、白鳳・あかつき・なつっこ・山根白桃・白根白桃など花粉の多い品種とする。
- ・ももの普通貯蔵の花粉の発芽率は30～50％であり、使用に際しての問題はありません。

摘蕾の実施・・・大玉生産のための摘蕾を！！

◎着果管理の流れ

- (1) 花粉のある品種の場合：摘蕾・摘花 ⇒ 荒摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
- (2) 花粉のない品種の場合：荒摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
(花粉のない品種でも場所により結実が良好な場合は(1)に準ずる)
- *花粉のある品種は早く摘果をすすめ良い幼果をつくとともに樹勢を保つ。
花粉のない品種は結実を確認し変形のない肥大の良い果実を残す。
- *白鳳系・あかつき・赤宝・山根白桃・なつっこ・白根白桃などは摘蕾する。川中島白桃などは、受粉樹など着果条件から摘蕾を軽くするか、しないか決定する。
- *ファンタジア・秀峰などのネクタリンは、花芽が少なく果実が不揃いとなりがちなので摘蕾は控える。

◎摘蕾の方法

- (1) 主枝・垂主枝・側枝など伸ばす枝の延長枝はすべて摘蕾し、垂れないよう強く保つ。
- (2) 上向きの蕾を除く。下向き・横向きは残す。
- (3) さらに長果枝(30～50 c m)の根元の3分の1、中果枝(15～30 c m)の先端部以外は除く。
短果枝は4～5短枝当り1芽残す。
- (4) 遅れると葉芽を欠くことになるので、葉芽が伸び出す前に実施する。

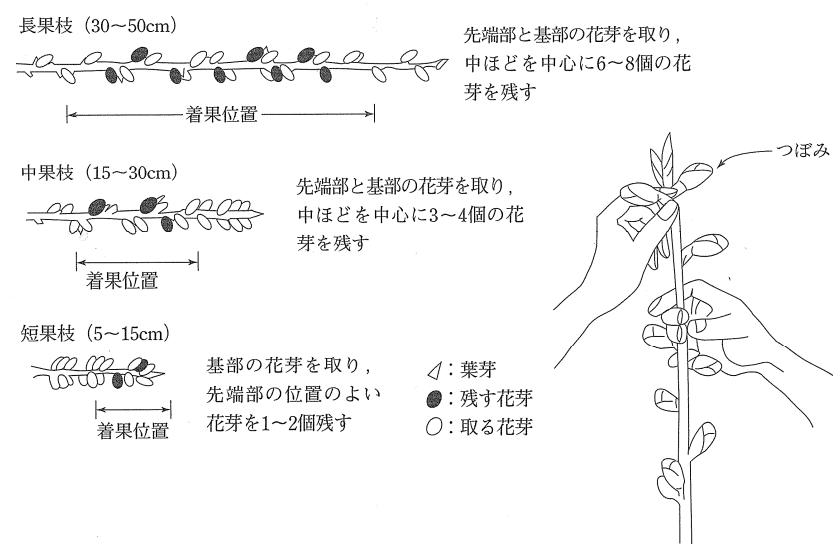


図1-10 摘蕾の方法